

平成29年度12月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 平成29年12月5日（火）午前11時00分～11時25分

場所 市役所2階 第1委員会室

出席 市政記者クラブ9社

会見内容

1. はじめに（1項目）

1. 台湾訪問について

- 12月2日（土）に国立台湾博物館で行われた、マリモ企画展と3日（日）に行われた「ひがし北海道サイクルイベント」に参加してまいりました。
- マリモ企画展は、「川上瀧^{かわかみたきや}彌と阿寒の自然」と題し、マリモの生体展示と、阿寒の自然環境や野生生物、アイヌ文化、そしてマリモの生態を紹介するパネルおよび映像展示を行うもので、オープニングイベントは除幕式に始まり、釧路市議会議員、日台親善協会、釧路ロータリークラブの方々が参加のもと行われ、その後に若菜マリモ研究室長により記念講演が行われました。
- また12月3日（日）には、本年9月にライオン・トラベルが実施した、「ひがし北海道サイクリングツアー」に参加いただいたお客様など、約80名を招待し、「ひがし北海道サイクルイベント」を開催いたしました。
- 映像によるひがし北海道のサイクリングコースの紹介や、日本と台湾のサイクリング愛好者などによるトークセッションを行い、大変好評を得たところでございます。
- これら一連の事業を通じて、日台の相互理解、ならびに観光や学術・文化交流の一層の促進が図られるものと期待しております。

2. 話題提供（2項目）

1. お正月UIJターン 就職個別相談会の開催について

- 平成29年度「釧路市人材確保・定着促進事業」の一環として、平成30年1月2日に、「北海道中小企業家同友会くしろ事務所」において、「お正月UIJターン 就職個別相談会」を開催いたします。
- この事業は、市内中小企業への就職及び人材定着の促進を目的として、平成27年度より北海道中小企業家同友会くしろ支部への委託事業として実施しているもので、今年度の個別相談会は夏に引き続き2回目の開催となりま

す。前回、夏の就職個別相談会では、11名の方にご参加いただき、現時点で、1名の方の市内就職が決定しており、今後さらに増えていく見込みです。

■ 参加は無料で、事前申込が必要です。相談会では、相談者の希望職種や労働条件などを伺いながら相談員のサポートを受けて「就職希望情報シート」を作成します。その後、市内約400社の情報と就職希望のマッチングを行います。

■ また、平成30年1月7日に開催の「くしろ20歳のつどい」の釧路会場においても、釧路の就職情報等について提供する予定ですので、お正月には帰って来られなかった方でも、成人式に帰って来られた方は、ぜひ、このブースにお立ち寄りいただきたいと思います。

■ 市といたしましては、これからの人口減少時代においても、ふるさとに戻って就職したいという希望がかなえられるよう、現在市外にお住まいの方が市内企業に就職するUIJターンの取り組みを一層進めてまいりたいと考えております。

■ 市内企業への就職にご興味のある方は、お気軽にご参加いただければ幸いです。また、帰省するご家族やご友人、就職や転職をご検討されている方がいらっしゃいましたら、ぜひ「個別相談会」や「UIJターン就職マッチング」について、情報提供をしていただければと思います。

2. 卸売キャラバン隊商談会 in 釧路の開催について

■ 来月1月25日・26日の2日間にわたり、「卸売キャラバン隊商談会 in 釧路」が札幌市の主催により開催されます。

■ この「卸売キャラバン隊商談会」は、札幌市を中心として全道10都市で構成する「北海道内都市経済活性化会議」の取り組みの一つとして、札幌市内の「食」に係る卸売企業が当市を訪れ、生産者や加工業者と直接商談を行うものです。

■ 本商談会は昨年に引き続き2回目の開催であります。昨年は、札幌市の卸売企業10社が来釧して、釧路市内の企業を中心に食関連製造業など20社が参加し、商談は延べ88商談と、これまで道内各地で開催された同商談会の中で最も多い商談数となりました。成約金額も950万円にのぼり、参加企業からも大変好評であったことから、2年連続での開催となりました。

■ 今年度の参加申し込みは12月8日（金）までとなっております。市内に居ながら域外への販路拡大を図ることができる、貴重な機会となりますので、是非ご参加いただきたいと思います。

■ 市といたしましては、これからも販路拡大に意欲的な食関連製造業者をサポートしていくために、市内での商談会開催の取り組みはもとより、道内外で

開催される商談会への参加を積極的に推し進め、釧路の優れた食品を広く道内外へ発信し、地域の食産業の活性化を図っていきたいと考えております。

3. その他（1項目）

1. 市役所及び各施設等の年末年始の休日について

- 本年度より、市役所及び各施設の年末年始の休日が、一部の施設を除き、12月29日から1月3日までに変更となります。
- 変更となる主な施設につきましては、市役所や市立病院、保育園、児童センター、コミュニティセンターなどとなっております。
- 施設ごとの休日につきましては、市ホームページや広報くしろ12月号にてお知らせしておりますのでご覧ください。

))

4. 質問要旨

(質問)

- ・ マリモ展の台湾での関心度と今後につながるようなお話はありましたか。

(市長)

- ・ マリモの展示を3週間程度行うのですが、これを見た台湾の研究者より常設したいとお話がありました。本物のマリモは天然記念物ということもありいろいろな調整が必要なのですが、将来的には考えていきたいと思います。

今回は台湾大学の研究者や以前に釧路に来てご講演をいただいたリン先生のほか、一般の方々も会場にいらっしゃっていました。

現在マリモの世界遺産への登録を目指していますが、世界的に研究者が少ないという現実もあります。このような交流ですとか情報交換などを行うことで、興味や関心を持っていただける研究者が出てくることによって、科学的根拠を裏付けるためにも非常に効果があることだと思います。

(質問)

- ・ LCCのピーチが釧路に就航するという話がありますが、市ではどのくらい具体的な話を聞いていますか。

(市長)

- ・ 先月の20日にお話をお聞きして、正式には12月に記者発表を行うということです。就航時期については来年の夏をいうことは聞いております。大変喜ばしいことだと思っています。

(質問)

- ・ 具体的にはどのような点が歓迎されますか

(市長)

- ・ 以前よりLCCにターゲットを絞りながら、バニラやピーチなどに接触を行ってきました。

LCCが多く就航しており、海外から個人旅行客が多く来ている関西国際空港との路線を確保できるということは、観光立国ショーケースの取り組みの一つとして、さまざまな国にプロモーションをしていくことができるということと、関西国際空港から釧路へのアクセスが確保できるといった点で大変うれしいと思っています。

(質問)

- ・ ピーチを定着させるための市独自の支援策などはありますか。

(市長)

- ・ 路線はしっかりと定着させることが重要だと思っています。国内の空港を見ても着陸料や空港使用料などはいろいろな仕組みを持ってやっているようです。もちろん市も当然必要だと思っています。

あとは北海道であるがゆえのコスト、たとえば機体に着いた雪が凍らならないようにするなどの対応策は考えていきたいと思っています。

(質問)

- ・ 市と空港運営会社とで支援を行うのですか。

(市長)

- ・ 新規就航ということにどのような支援を行っていくのかということですが、いままで同様に着陸料や空港使用料、あと北海道庁では機体が凍らないようにするデアイシングの制度がありますので、仕組みとして必須だと思っています。これを3年間程度進めていくことを考えています。

この間に路線を定着させることと2次交通などの利便性を増していくということをしかりと行っていきたいと思えます。

(質問)

- ・ 人口がまもなく苦小牧と逆転しそうですけど、どのように考えていますか。

(市長)

- ・ まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で人口減少社会に対峙すると言っておりますとおり、しっかりと対応していくことが重要だと思っています。

その中でも特に15歳から24歳の年代が就職や進学などで転出超過になっているという現実を踏まえたときに、この地域の産業の活性化ですとか地元の頑張っている企業の情報発信をしかり行っていき、UIJターンにつなげるということが重要だと考えています。

地元の雇用をしかりと守っていくことができれば、人口減少社会に立ち

向かっていけると思っております。

もちろん道内で人口が4番目とか5番目といったことは数字として出てくるものですが、そのようなことではなく、その原因がわかっていますのでそこに取り組んでいくということが重要だと思っています。

(質問)

- ・ 釧路市の人口の減り方が苫小牧に比べて大きいと思うのですが、その分析やこれまでの取り組みについてどのように感じていますか。

(市長)

- ・ 基本的に雇用政策というのは国が行っていくといったイメージが強かったのではないかと考えています。

諸外国を見てみますと、実は雇用というのは地方で行っているもので、その地方の状況や特色をどうやって活かしていくかということです。それを見ますと日本では画一的な雇用政策が中心だったのではないかと考えます。

地域を活かす雇用政策や取り組みには至っていなかったと思っています。

そこで私が市長に就任した段階から、このまちにあることはすべて資源であり財産であるという観点で都市経営戦略プランを策定し取り組んできました。ただ成果としてはまだなかなか出てきていないのが現実であります。しかし、しっかりと取り組んでいけば成果が上がっていくものと考えています。

(質問)

- ・ 市長は企業誘致よりも内発的な雇用創出と言っておりますが、それは今も変わっていませんか。

(市長)

- ・ 釧路というフィールドをどうやって活かすのかという観点の中での企業誘致というか、釧路に必然性を感じていただくことが大切だと思っています。

荒廃地の酪農の実績などを踏まえたなかで国際戦略バルク港湾に選定され、新たな飼料工場が進出してくるのは、まさに必然性なのだと思います。

一時期、短期の成果を考慮して補助金を活用した企業誘致を行った例がありましたが、これは補助金ということで期限があります。

継続ということでは、やはり必然性を持った企業誘致しかないのだと思います。

パプリカも長野県で栽培されていましたが、釧路の冷涼な気候と日照時間の長さなど、まさにこの地域のものを活かすことで、他の地域よりもはるかに高い生産性を維持できています。

決して企業誘致を否定しているわけではないですが、同じ企業誘致でも釧路のフィールドを活用する、また連携を取りながら進めていくようなことを行っていきたいと思っています。

(質問)

- ・ まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、人口減少に対応したまちづくりの中のコンパクトなまちづくりのK P Iに違和感があるという意見もあります。人口減に対応するも目標値が人口の数というのはどうなのでしょう。

(市長)

- ・ この総合戦略を策定する際にK P I (数値目標) の項目が必須でありましたことから、このような目標値を掲げました。

過去鉤路市は人口が25万人のまちを目指してまちを拡大してきました。今は約17万3千人という中で、どのようにしていくかということですが、広げたものを縮小するというにはならないと思います。ですのでコンパクトシティということを考えながら進めてきました。

まち・ひと・しごと創生総合戦略では将来人口予測の10万6千人をプラス3万2千人で13万8千人としたところであります。

(質問)

- ・ その目標は順調に推移していますか。

(市長)

- ・ 今まで地方自治体は雇用とか産業政策とかを取り組んでいなかったということなのかもしれません。どうしても国の枠組みの中で経済・景気対策などを行ってまいりました。

でも実際にはまちのことを活かすようなことに真剣に今まで取り組んできたのだらうかと思っています。もちろん現場で市民の意見をいただいて、その解消のためにいろいろやってきました。また都市経営ということを出しながら進めています。だからこれは手間取る話ではあるのですが、本当に真剣に雇用政策を考えたら、現場を知ることが必要だと思います。

雇用の状況などの数字をハローワークからもらいますが、市内のことをすべて反映しているのかと思います。鉤路市内には約8,900の企業数があります。数年前に市ではアンケートを行って、いろいろな状況をお聞きしました。

市役所は本当はそのようなことを行って、いろいろと話を聞きながら、併せて国や道の施策や仕組みを活用しながら政策展開を進めていくことが必要だと思います。雇用政策は限度があります。しかし地方が考えていくということが重要なのではないかと考えています。

(質問)

- ・ 鉤路にスターバックスがオープンしますが、特別委員会でも中心市街地にカフェや飲食店がもっとが増えたほうが良いという意見があったようですが、今後2号店を中心市街地にという考えはありますか。

(市長)

- ・ 12月20日にスターバックスがオープンするということで、喜ばしいことだと思います。

現実的に企業がさまざまなビジネスを行う時には、そこにどれだけの人が通っているのか、その地区はどうなっているのかということ踏まえながら決めていくものだと思います。先ほどの企業誘致もそうですが、誰かに言われたから来るといのはビジネスではありません。だから地域としてビジネス環境をしっかりと作っていくということが必要だと考えています。現実として、企業はビジネスのことを考え、成り立つ仕組みを考えたいので、昭和地区に開店するという事になったのだと思います。

中心地に来てくれればいいと誰もが思うと思うのではないのでしょうか。しかしそのようになっていないということが現実です。

そこで中心地をどういう形にしていくのか。現在図書館も造っていますが、そうすると企業は、例えばこの中心地は市役所や官公庁や企業もあるから良い場所なんだけど、土日は休みだから土日の集客はどうするのかと考えます。

それはビジネスとしてはなかなかきつい。じゃあそのことを踏まえてわれわれはこの中心地の施策とこういうことをしっかりと考えていくという形になってきます。

そのような中、今回スターバックスが来てくれました。あの店舗からの景色も素晴らしいし、ドライブスルーもあります。しかし配送の仕組みを考えても、やはり複数店舗があったほうがより効率的にできるはずですから、1店舗で終わるということはないのかなと思っています。今回はまず昭和地区になったということだと思います。これから中心街も含めた形になるのか、橋北の方になるのかということもありますが、そのような形にしていけたらと思っています。